

1. 未来創造RAP応用B（課題研究）とは

（1） 目的

- ① 数学や理科などに関する事象や課題に向き合い、論理的・批判的・創造的な思考を通じて積極的に課題の解決や価値の創造に挑戦する態度を養う。（探究力）（思考力）
- ② 他者と協働して多角的、複合的に事象をとらえる力を育むとともに、研究成果をわかりやすく表現する力を育む。（協働力）（コミュニケーション力）

（2） 実施期間 …… 毎週火曜日6,7限 （全30週60時間）

（3） 指導者 …… 各班に1名の担当教員がつきます。

- ① 困ったことがあれば、すぐに相談しましょう
- ② 実験結果の考察、発表資料や作成した論文などを報告、検討してもらいましょう

（4） RAP応用Bを始めるにあたって諸注意

- ① 原則、みなさんの主体性に任せます。自由に考え、活動してください。
- ② ただし、実験室や実験器具を使用する際は特に気をつけましょう。
実験室等を適切に使用してもらうために、「実験室等使用の際の注意」を熟読し、提出します。
- ③ RAP応用Bの時間（研究実験以外でも）は「ボールペン」を使いましょう。
鉛筆は消しゴムで消して書き換える事が可能 = いくらでも不正ができる ということ。
つまり、鉛筆で記述している内容 = データとして信用できない
- ④ 何でもメモをするクセを身につけよう。
気づいたこと、感じたことなど良いこと悪いこともすべて記録しておこう。
何かのヒントになる・・・かもしれません。
- ⑤ とときどき立ち止まって、進捗状況や自分の現状を客観的に把握することを心がけよう。
年間予定をファイルに貼り、常にチェックできるようにしておこう。

2. おおまかな年間予定

期	月	回	概要	学習内容	提出物	締切日
①	4	1	RAP応用B入門	RAP応用Bガイダンス、 班役員決め、年間予定等確認	アンケート、ワークシート、 ※役割分担表	4月16日
		2	研究テーマの設定	論文検索		
		3		資料作成技術（初級）		
	5	4	ミニ検討会準備			
		5				
		6			※ミニ検討会発表用資料	5月31日
②	6	7	ミニ検討会6/4@視聴覚	プレゼン技術（初級）	振り返りシート①、アンケート	6月4日
		8	ミニ検討会の振り返り	考察	※研究計画書	6月14日
		9	研究実験①	実験→考察→計画直しの		
		10		サイクル確率		
	7	11	中間発表会準備	資料作成技術（中級）	※発表用資料・レジュメ	7月12日
		12	中間発表会7/16@視聴覚 中間発表振り返り	プレゼン技術（中級）	評価シート①、アンケート、 振り返りシート②	7月16日
③	9	13	研究実験②			
		14			実験ノート	月 日
		15	先端科学技術研修 事前事後学習		事前事後シート	月 日
	16					
	17					
	10	18	研究実験③ リーダーシップ養成	下級生にわかりやすく説明する		
		19		結果から適切な考察を導く		
		20		研究の計画を見直す		
	11	21	研究実験④ RAP応用B発表会準備	資料作成技術（上級）		
		22		プレゼン技術（上級）		
		23		英語表現能力（初級）		
		24				
12	25			発表資料・レジュメ	月 日	
	26	RAP応用B発表会12/18@記念館	質疑応答技術	評価シート②、アンケート	月 日	
④	1	27	論文作成ガイダンス	論文の書き方		
		28	RAP応用B発表会振り返り 追加実験 清掃	全体を客観的に把握する		
		29			まとめ・振り返りシート③	月 日
	2	30	SSH成果発表会	代表班による発表		
		31	論文作成	表現力・思考力	実験ノート	月 日
	3	32		英語表現能力（上級）	論文・要旨	月 日
33		振り返り	希望進路につなげる	事後アンケート	月 日	

3. 班の中での役割分担を決めよう

この RAP 応用 B は 1 つのテーマを元に 4～6 人が 1 グループとなって研究活動を行っていきます。

誰か 1 人に任せるのではなく、班のメンバー全員で協力し合って活動していきましょう。

「令和 6 年度 2 年理数科未来創造 RAP 応用 B 役割分担表」にある各役割について、担当を決め責任感を持って実行してください。役割は 5 つあります。どれを兼務にするかも含めてしっかり話し合っていて決めていきましょう。

（6 名の班は 2 人で担当するところ）

役割分担が決まったら、班長の「役割分担表」に清書をし、RAP 応用 B 担当（山本）にすみやかに提出してください。締め切りは 4 月 16 日（火）本日です。

